

広報誌

かわらんべ

2013年 6月
第127号

かわらんべの活動報告（4月11日～5月10日）、活動予定（6月）、天竜川流域情報などをお届けします。



「キノコ栽培」

かわらんべ講座初挑戦のキノコ栽培。キノコの菌を混ぜた培地を原木に塗って、土に埋め準備完了。参加者のみなさんも自宅での栽培用の原木・培地を持ち帰り、秋の収穫が楽しみです。 (4/13)



「春の鳥の観察」

良い天気となった水辺の楽校で27種類の野鳥を観察しました。(5/4)



「春の草花図鑑作り」

タンポポなどの花や草にデザイン心とアイデアで春の草花図鑑が完成。(4/20)



「春の鉱山巡り」

伊那市メツラ沢で磁鉄鉱と針鉄鉱を探しました。【鉱物は館内に展示中】(4/28)



「春の星」

お目当ての彗星は見えなかったけど、夜空の春の星たちを眺めました。(4/13)



「山菜クッキング」

ワラビ・コゴミなどの山菜や、タンポポ・スギナなどの野草をつんで、いろいろな料理を楽しみました。(4/27)





かわらんべの活動報告

4月11日～5月10日

かわらんべ講座

かわらんべで企画・運営する講座です。どなたでもご参加いただけます。

開催日	講座名	開催場所	参加人数
● 4月13日 (土)	キノコ栽培	かわらんべ・水辺の楽校いいだ	46名
● 4月13日 (土)	春の星	かわらんべ	18名
● 4月17日 (水)	かわらんべウォーキング	かわらんべ・天龍峡	14名
● 4月20日 (土)	春の草花図鑑作り	かわらんべ・水辺の楽校いいだ	36名
● 4月27日 (土)	山菜クッキング	かわらんべ・水辺の楽校いいだ	45名
● 4月28日 (日)	春の鉱山巡り	伊那市メツラ沢	18名
● 5月 2日 (木)	絵手紙講座	かわらんべ	27名
● 5月 4日 (土)	春の鳥の観察	かわらんべ・水辺の楽校いいだ	26名
● 5月 8日 (水)	写真講座	かわらんべ・開善寺	15名

リクエスト講座

園・学校・各種団体からご依頼を受けて、ご依頼団体と一緒に企画・運営する講座です。

開催日	ご依頼団体	講座の内容	参加人数
● 4月20日 (土)	阿南少年自然の家	【実習】山菜採集・山菜の話	30名
● 4月23日 (火)	長野県シニア大学飯伊支部	【講演】伊那谷の自然「身近な草木から学ぶ」	96名

総合学習・PTA活動・レクなどの自然体験の運営情報やオススメ講座についてはホームページをご覧ください
*只今、お申し込みが殺到しており、日程についてはご希望に沿えない場合がございます。

地域の貴重な財産「ひとくいなだにいさん」と暮らしの伊那谷遺産」のご紹介

伊那谷地域の土木・暮らし・自然などにまつわる先人の足跡を「伊那谷遺産」として選定・提案し、防災教育や地域振興を支援するため、天竜川上流河川事務所が事務局となって「人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト」が進められています。現在、遺産のリストには79件が選出されていて、100件を目標に選定が進められています。かわらんべでも、今後の講座や広報誌の中で伊那谷遺産を紹介していきます。



座光寺石川除 (さこうじいしかわよけ)
江戸時代の堤防がほぼ原形をとどめる貴重な史料のため、今年2月に市史跡に指定されました。

かわらんべ周辺にも伊那谷遺産がたくさんあります



三六災最高水位標



姑射橋



時又港



川路郷家屋移転記念碑

伊那谷遺産の情報を見るならココ！

【デジタルコモンズが便利】

伊那谷遺産を活用したツアーやイベントを企画したいけれど、材料を集めるのが大変とお考えの方に朗報です。天竜川上流河川事務所では「デジタルコモンズ(電子情報の共有財化)」を構築中で、この中で伊那谷遺産の写真や解説などの様々な情報を集積し、提供しています。基本的に利用は自由で、情報提供も可。

伊那谷遺産
の詳細は
こちらから →





6月の活動予定

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※青■はかわらんべ講座予定日
赤文字は休館日

かわらんべ講座

★印：かわらんべが計画する体験講座
☆印：天竜川上流河川事務所が計画する天竜川体験講座

★6月1日(土)9:00~11:00

「**チョウの飼育**」

【講師】堤 久 (かわらんべスタッフ)
【持ち物】2号ペットボトル、飲み物
【内容】モンシロチョウの卵・幼虫を観察し、飼育に挑戦

幼児
~成人

☆6月2日(日)9:00~11:00

「**ウシガエル捕獲作戦**」

【講師】柳生 将之 (かわらんべスタッフ)
【持ち物】池に入るクツと服装、飲み物
【内容】ウシガエルの巨大オタマジャクシをつかまえよう

幼児
~成人

外来種駆除活動

☆6月2日(日)13:30~14:30

「**かんたん! 水質しらべ**」

【講師】久保田 憲昭 (かわらんべスタッフ)
【持ち物】筆記用具
【内容】天竜川の水のキレイさをパックテストで調べよう

幼児
~成人

全国一斉調査
に参加

★6月8日(土)9:00~11:00

「**メダカの水そう作りと飼育**」

【講師】堤 久 (かわらんべスタッフ)
【持ち物】2号角形ペットボトル、筆記用具、飲み物
【内容】メダカ飼育用の水そうを作って飼ひ方を学ぼう

幼児
~成人

小5理科に関連

★6月15日(土)9:00~11:30

「**桑の実をつんでジャム作り**」

【講師】堤 久 (かわらんべスタッフ)
【持ち物】ビン(200mL程度)、エプロン、実を入れる袋
【内容】桑の実をつみとって甘酸っぱいジャムを作ろう

幼児
~成人

恒例の大人気講座

★6月22日(土)9:00~11:00

「**川や田んぼで生き物探し**」

【講師】堤 久 (かわらんべスタッフ)
【持ち物】2号ペットボトル、長グツ、飲み物
【内容】カエルやオタマジャクシを探して観察しよう

幼児
~成人

★6月29日(土)9:00~11:30

「**36災害の遺産を訪ねる**」

【運営】堤 久 (かわらんべスタッフ)
【持ち物】筆記用具、飲み物
【内容】36災害の遺産を訪ね、災害と復興を学びます

小3年
~成人

伊那谷遺産を紹介

★6月6日(木)9:00~11:00

「**絵手紙講座**」

【講師】黒河内 秀幸 (日本絵手紙協会)
【持ち物】教材費200円、印、筆記用具、飲み物
【内容】絵手紙の描き方を楽しく学びます

成人

★6月11日(火)9:00~11:30

「**桑の実を摘んでジャム作り**」

【講師】堤 久 (かわらんべスタッフ)
【持ち物】材料費200円、ビン(600mL程度)、エプロン、実を入れる袋
【内容】桑の実でジャムを作ります

成人

★6月12日(水)9:00~11:00

「**写真講座**」

【講師】宮島 功 (飯田市写真家)
【持ち物】撮影機器、筆記用具、飲み物
【内容】デジカメで花や風景を撮影します

成人

★6月19日(水)9:00~15:00

「**草木染め**」

【講師】木の会の会
【持ち物】布代1000円、筆記用具、昼食、飲み物
【内容】草木を染料にして布をキレイに染めます

成人

★6月19日(水)14:30~16:30

「**かわらんべウォーキング**」

【講師】酒井 浩文 (ソウル五輪競歩代表)
【持ち物】ウォークできる服装、飲み物
【内容】歩き専門家と楽しくウォークします

成人

ウォーク後の
茶会も好評

- 参加費は無料です。参加費が必要な場合は持ち物に書いてあります。
- 申し込みは電話、FAX、メール、窓口で受け付けています。その際、氏名、住所、電話番号などの個人情報をお伺いします。(万が一に備えての傷害保険加入のためです：保険代は無料)
- 小学2年生以下のお子さんは、保護者同伴をお願いします。
- 準備や安全管理の都合により、事前申し込みが必要です。

かわらんべ

“川らん辺” 通信

※このコーナーでは、みなさまからの話題を募集しています。天竜川とその周辺河川にかかわりの深い 自然・文化・防災などについて解説します。

一シリーズ「土砂災害のめぐるし」⑥ー No.38 地名が語る過去の水害

【**こんす島・出来島**】

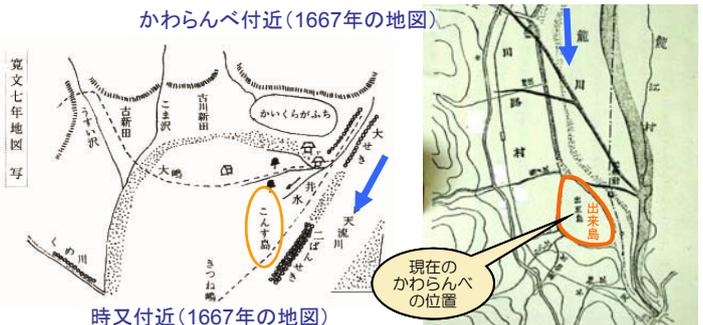
かわらんべのある場所は昔は「出来島」だった!

天竜川が氾濫した記憶が地名に残されていることがあります。そんな例を『川路村水防史』(昭和10年)から二つ挙げてみました。いずれも約350年前の寛文七年(1667)の地図です。

一つは、三六災害当時、川路一区(現在は時又)であった場所の地図で、そこに「**こんす島**」があります。天竜川の西流をせき止めた堰のすぐ内側で、天竜川に最も近い場所です。コム又は動詞コム(滯)・ス(州)から変化したもので、**こんす島**とは「**水びたしになりやすい島**」という意味です。満水(大水)の時には、いつも冠水した場所であったという記憶が残っていたものと思われる。

もう一つは、下流側にある「**出来島(シッタイジマ)**」で、現在のかわらんべのある場所です。大水(大水)の後に、「**突然、現れた島**」を意味します。村人達は耕作するために島に渡りますが、水をかぶることが度々あって、収穫は安定しません。このため、お役人も他の土地並に税金を掛けることができなかったといひます。 今村理則(元かわらんべスタッフ)

かわらんべ付近(1667年の地図)



天竜川 川の旅

天竜川の源流から河口にかけて、天竜川の姿や自然、人々の関わりをご紹介します。

第9回 高遠城主も遊興した上平出の坪梁

たかとおじょうしゅ ゆうきょう かみひらいで つぼやな

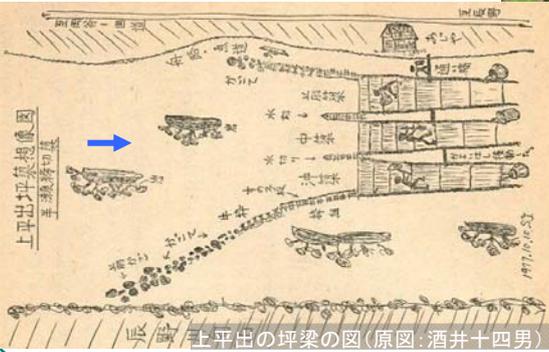
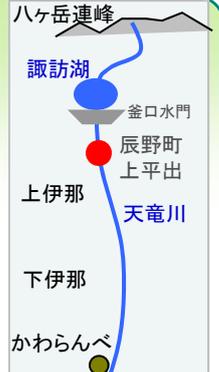
鶴ヶ峰の山裾を流れる天竜川のそばに石碑があります。「朝光に 築場の名残り すずき噴く」。昔、ここには「新梁」と呼ばれる梁があったそうです。この梁は17世紀にはすでに登場し、高遠城主 鳥居忠春は好んでここで遊興したようです。



上平出の天竜川



新村青圃の句碑



上平出の坪梁の図(原図:酒井十四男)

辰野の梁では、主に諏訪湖から下ってきたウナギが漁獲され、秋雨時、多いときにはウナギだけで一日に二百貫(約750kg)もとれたようです。そんな上平出の梁も全盛期は大正4・5年までで、その後、下流の大久保堰堤・南向堰堤や、上流の西天竜頭首工・釜口水門の建設などによって、遡上する稚魚と降下する成魚が減少し、昭和初期に約300年の歴史に幕を閉じました。

先の句にはその悲哀の情景が詠み込まれています。

坪梁の記載は「伊那路」21巻10-12号(1977)の「天竜川特集」を参考にし、梁の図も酒井十四男氏の「辰野の漁翁(二)」から引用した。

天竜川と暮らして

天竜川に深く関わる個人や団体の、天竜川へよせる想いをご自身の言葉と写真で紹介합니다。

ホタルとアヤメの里づくりの会 (駒ヶ根)

駒ヶ根市中沢地区の天竜川には「水辺の楽校(駒ヶ根)」があります。新宮川・小川・池・草地などは水辺の環境や生物の観察適地となっており、「ホタルとアヤメの里づくりの会」のみなさんが管理しています。現在の会員数は60名で、事務局は「おもしろかっぱ館」にあります。会の活動について同館の春日館長にお話をうかがいました。

●ホタル1000匹を目指して

この会は、水辺の楽校(駒ヶ根)ができた平成8年ごろからスタートし、ゲンジボタル1000匹が飛び交う小川を目指して活動しています。ホタルの養殖を地元小学校に手伝ってもらったりして、去年は300匹ほどの発生を確認しています。

●6月下旬のホタル祭りに1000人も!

毎年6月下旬の3日間に「ホタル祭り」を開催しています。3日間で1000人も集まる大きなイベントで、駒ヶ根の初夏の風物詩となっています。

●ホタルの飛び天竜河原をいつまでも

これまで会をリードしてきた山口久人さんが今年2月に急逝され、今シーズンは養殖ホタルの導入を断念しました。今は自然発生に期待しています。

天竜河原のホタルが将来にわたって長く発生し、水辺の楽校が子供たちの自然体験の場として定着することを願っています。



事務局はかっぱ館の中

水辺の楽校のホタル沢

河童だより

ホタルの季節です。天竜川沿いのホタル産地では数百のホタルが舞って、ホタルも人も大賑わいのです。でも、数は少なくともかわらんべ小川や久米川のような自然発生のホタルも風情があります(川)

★かわらんべの利用について<入館無料>

- 開館時間9:00~17:00(貸室は21時まで)
- 休館日:月曜・祝日の翌日
(6月の休館は、3, 10, 17, 24日)
- 交通案内
 - ・中央自動車道飯田ICより車で30分
 - ・三遠南信自動車道天龍峡ICより車で5分
 - ・JR飯田線天龍峡駅、川路駅より徒歩15分



★水辺の楽校いっだ

天竜川の河川敷に広がる「多自然型ピオトープ」。小川や草地は子どもたちの遊び場や野鳥観察の場として賑わい、堤防沿いの散歩道はウォーキングにも利用されています。

当館では、保育園・幼稚園、小中学校、高校などの教育機関や、学年・学級PTA、公民館、児童クラブなど、幅広く各種団体のご要望に応じた体験活動のプログラムをご提供いたします。6月~10月には予約が殺到しますので、お早めにご連絡ください。

各種申込・問合せ

天竜川総合学習館かわらんべ

住所: 〒399-2431 長野県飯田市川路7674番地 TEL: 0265-27-6115 FAX: 0265-27-6125
ホームページ: <http://www.cbr.mlit.go.jp/tenryo/kawaranbe/> E-mail: kawaranbe@gmail.com
*かわらんべ講座のお申し込みの際には 住所、氏名、電話番号、学校名、学年 をお知らせください。

